

61. に対する質問 (東大) 木下 国昭

DHEA注射後の尿中Eの増加は、どこかの Organ を reizen するのによるのか、又はDHEAが体内で convert されるのか、(convert すればどこの Organ か)

答弁 (金沢大) 西田 悦郎

DHA投与後の尿中 Estrogen 上昇が Convert の結果であるか、否かについては即断することはできないが、卵巣の存在する場合も去勢婦人の場合も同様に増加傾向を示すので、その関与する臓器としては一応副腎が考えられ、副腎におけるDHAより Estrogen への convert の結果ともみなされるが、更に glucocorticosteroids と Estrogen とのいわば shift の問題、更に下垂体なども考慮する必要があると考えられる。

62. Depot 作用を持つ Estriol tripropionate の臨床的研究

(東京通信)

大沢 辰治, 高橋 哲也, 植松 修

近年 Estriol の臨床応用が注目され、その意義が再認識されつつある。

最近小宮等は Estriolを tripropionate の型で Ester 化した時にその持続作用が著明で Estriol の Depot とも云える作用を持つ事を発表した。

我々も此の製剤に就てかなりのみるべき効果を得たので報告する。

更年期障碍及卵巣欠落症状の15例に就てみるとその程度に差はあるが全例に有効であった。自觉症状は通常10mg 1回の注射で消失し更年期指数は使用前平均17が使用後は 4.3と減少した。その効果は2週間以上の持続を示した。

膣炎に就ては殊にホ欠乏因子の著明と思われるものには著効があり、5例の症例は自觉他覚症状共に軽快し性交痛も消失した。

子宮腔部癰爛に就ては5例のうち好転、不変相半ばし効果は、はつきりしなかったが、一応他の治療法との併用が望ましい如く考えられる。月経困難症月経前緊張症はその出現機序が一元的ではないから全例に効果があるとは云えないが今回使用せる例は全例有効であった。之等の遠隔成績は不明のものもあるが、それ以来症状が消失せるものもある。

高年初産婦を含め子宮頸管及軟産道が強靱で難産が予想されるもの19例に本剤を使用せる所、陣痛開始前に本剤を注射した群は陣痛開始後に使用せる群より明らかに

分娩時間が短縮され、本剤の使用が有効なる事が明らかである。尚効果判定の一助として人工妊娠中絶3日前に本剤を注射し Hegar 拡張器により頸管抵抗をしらべた所、対照にくらべて著るしく抵抗が減退している事を知った。

本 Estriol tripropionate の作用効力及持続を臨床的検査法によりしらべた。

頸管粘液量、結晶形成、率糸性、陰脂膏の表層細胞の動態等からみると凡そ1週間目が効果最高であり、持続は12~13日位であり、2週間では効果が消失している事を知った。尚尿中エストロゲン総量からみると3日位が最高でその持続も、もつと短い如くである。

子宮内膜に対する作用は軽微である。

消褪出血は卵巣欠落症状に3例、不妊症に9例認められたが一般には少なく臨床使用上の困難はない。只不妊患者では消褪出血、ひいては排卵抑制の存在する点治療上に注意すべきである。その様な場合は量の減量なり、使用間隔の短縮等その使用法に幅を持たす事も必要である。

結論

Estriol tripropionate は Estriol の Depot 剤とも云える long active estriol であつて、Estriol の使用適応となる疾患には凡て有効である。しかもその効果は非常に優秀であり、その使用が簡便である事を認めた。その持続効果は凡そ2週間以内、大体12~13日と考えられる。

63. エストリオール・デポーに関する研究

(仙台市立)

村井 秀夫, 大友 泰郎, 駒 幸男

(東北大) 一条 元彦, 氏家 康秀

我々は Estriol が子宮頸管、子宮腔部、膣に選擇的に作用し、子宮頸軟化作用及び膣部びらん、膣炎、外陰癢痒症等の治療に著効を奏する事を報告して来た。今回は子宮頸管軟化作用について持田製薬株式会社で試作した各種 Estriol 誘導体の効力を検討し、且つ Estriol の depot 剤として Estriol tripropionate の基礎的・臨床的実験を行つた。

Estriol 誘導体のマウス頸管粗鬆化作用は 3. 16. 17.-Tripropionateに於て極めて強力で廿~卅を示し、3. 16. 17.-triacetateが之に次いで十~廿、3-Monobenzoate が十であつた (free の Estriol では十~廿)。然し 16. 17.-Diacetate, 3. 16. 17.-Tribenzoate には殆んど作用がなかった。頸管粗鬆化作用の持続時間は15γ 1回筋注後